

# 研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP) 産学共同 (ステージ I・II)

## 提案書記載における留意事項

スタートアップ・技術移転推進部 研究支援グループ  
2026年2月



科学を支え、未来へつなぐ

科学技術振興機構

対象となる様式を指します。

対象となるメニューを指します。

2026 年度募集 A-STEP 産学共同ステージ II (本格フェーズ) 提案書

※提案書作成時、青字の記載ガイドは削除してください。  
・項目名および以下の書式設定は変更しないでください。

2026 年度募集 A-STEP 産学共同ステージ I (育成フェーズ) 提案書

※提案書作成時、青字の記載ガイドは削除してください。  
・項目名および以下の書式設定は変更しないでください。  
サイズ：A4 サイズ、余白：やや狭い、行間：固定値 18 pt  
フォントスタイル：原則 BIZ UD ゴシック (日本語版)、本文フォントサイズ：10.5 pt  
・e-Rad にアップロードされた提案書に評価を困難とする不備がある場合は、不受理といたします。「評価を困難とする不備」とは、提案書各様式の抜け、査読を困難とする文字化け、提案書記載項目の重大な記載漏れ等を指します。なお、JST は、提案の受理・不受理を問わず、募集締切時刻までに発生する提案書の不備についての一切の責任を負いません。従って、募集締切時刻までに、JST は提案者に事前確認のうえでの提案書の訂正もしくは、提案者に対する訂正依頼行為の一切を行わないことにつき、予めご承知おきください。また、募集締切後の e-Rad 上での引戻し処理はできません。  
・e-Rad 入力情報について、提案書の記載と相違が認められた場合は、提案書の記載を正として取り扱います。

様式 1 基本事項

※様式 1 は A4 用紙 1 ページ以内 (厳守) としてください。

提案分野名	○○分野
研究課題名	
研究責任者 氏名	
所属機関・部署・役職	※「大学院○○研究科」「担任准教授」等、略さず正しく記入してください。「大学院」の表記漏れにご注意ください。
研究期間	2026 年 10 月 ~ 年 月 ( 年間 )
研究概要	※ 本提案の目的および実施内容の概要を簡潔にまとめ、300 字以内で記入してください。

- ・ **ステージ I (育成フェーズ) とステージ II (本格フェーズ) は、提案様式が異なります。** 必ず所定様式で提案してください。
- ・ **所定様式以外を使用されている場合は不受理**となります。
- ・ また、e-Rad にアップロードされた提案書に **評価を困難とする不備がある場合は、不受理**といたします。  
※「評価を困難とする不備」：  
**提案書各様式の抜け、査読を困難とする文字化け、提案書記載項目の重大な記載漏れ等**を指します。

- ・ 全ページで記載する **フォントサイズは 10.5 ポイント以上**。
- ・ **全ページの書式設定、スタイル設定、行間サイズは変更不可**。
- ・ 提案書の **青色** の記載ガイドをよく確認してください。  
※**提出時、青色の記載ガイドは削除**してください。
- ・ e-Rad に提出の際は PDF 化のうえ、アップロードしてください。  
※アップロードできる提案様式の電子媒体は 1 ファイルで、最大容量は 30MB です。
- ・ e-Rad と提案書双方に記載欄がある項目について、提案書の記載と相違が認められた場合は **提案書の記載を正として取り扱います**。

※本図はステージ II の例。

2026 年度募集 A-STEP 産学共同ステージ II (本格フェーズ) 提案書

様式 1 基本事項

※ 様式 1 は A4 用紙 1 ページ以内 (厳守) としてください。

提案分野名	〇〇分野
研究課題名	
研究責任者 氏名	
所属機関・部署・役職	※「大学院〇〇研究科」「特任准教授」等、略さず正しく記入してください。「大学院」の表記漏れにご注意ください。
研究期間	2026 年 10 月 ~ 年 月 ( 年間)
研究概要	※ 本提案の目的および実施内容の概要を簡潔にまとめ、300 字以内で記入してください。

以下の中から 1 つの分野を記載してください。

- ・「ICT、電子デバイス、ものづくり分野」
- ・「機能材料分野」
- ・「アグリ・バイオ分野」

研究開発期間の最長は以下の通りです。  
 ステージ I : **2029年3月までの2.5年間**  
 ステージ II : **2031年3月までの4.5年間**

※ステージ I において、  
 3年度目に研究開発が継続していない研究  
 開発課題は、原則、ステージゲート評  
 価を受けることができません。

目的及び実施内容の概要を簡潔にまとめ、  
**300字以内**で記載してください。

### 様式 2 研究開発の構想

- ※ 様式 2 は、A4 用紙 3 ページ以内（厳守）としてください。
- ※ 評価者が理解しやすいよう、必要に応じて図表（カラー可）を用いて記載してください。
- ※ 以下の観点から評価を行います。
  - A-STEP 産学共同 本格フェーズの趣旨に合致し、イノベーションインパクト、社会的インパクトが期待できること。
- ※ 公募要領「4.1 概要」**※本図はステージ II の例。**「4.1.1 研究開発の構想」についてを必ずご確認ください。
- ※ 本格フェーズ及び提案分野の趣旨を踏まえたうえで、本研究開発の背景や目的、技術シーズの社会実装に向けての構想について、以下の観点も含めて具体的かつ明確に記載してください。
  - ・最終的に社会実装を目指す製品・サービス等の具体的な内容と最終的な目標、及び社会実装までのロードマップ
  - ・社会実装を実現する上での課題、本格フェーズでの解決項目
  - ・技術シーズや、目指す製品・サービス等によりもたらされるイノベーションインパクト、社会的インパクト（社会革新性、公益性など）、学術的な波及効果
- ※ 必要に応じて研究・活動実績（様式 6）の記載内容を適切に引用し、研究・活動実績と研究開発構想との関係が明確になるようにしてください。引用にあたっては、研究・活動実績にて示した論文・著書番号（研究責任者：様式 6-1、主たる研究分担者：様式 6-2）を用いることもできます。ただし、論文・著書番号を引用する場合は、その番号が研究責任者あるいは、どの主たる研究分担者の業績に対応しているかがわかるようにしてください。
- ※ A-STEP 産学共同プログラムへの複数回の応募（他分野への応募を含む）となる場合は、前回の提案との相違点を記載ください。

- **3ページ以内**で記載してください。
- 応募するステージの趣旨や要件、提案先分野の応募方針、記載ガイド等をよくご確認のうえ、必要事項を記載してください。

必要に応じて様式 6-1、6-2 に記載の資料リストから対応が付くように引用してください。

A-STEP 産学共同プログラムへのご応募が複数回ある場合は（他分野への応募を含む）、前回の提案との相違点を記載してください。

# 様式3

## 様式3 技術シーズの独創性・優位性

- ※ 様式3の3-1はA4用紙3ページ以内、3-2は1企業につきA4用紙1ページ以内(厳守)としてください。
- ※ 評価者が理解しやすいよう、必要に応じて図表(カラー可)を用いて記載してください。
- ※ 以下の観点から評価を行います。
  - 国内外の動向等
- ※ 関連分野の国内外的動向等、本技術シーズの独創性や優位性を明確に示してください。

※本図はステージIIの例。

### 3-1. 技術シーズ ※3ページ以内

- (1) 技術シーズの内容・特徴
- ※ 「技術シーズ」とは、社会課題解決等に必要となる基礎研究成果を指します。具体的には、①論文、②特許等の知的財産権、③競争的資金等による成果、等になります。
  - ※ 本提案の技術シーズとなる関連論文や知的財産権等に関して、内容、特徴、独創性、優位性を記載してください。
  - ※ 様式2で記載した最終的に社会実装を目指す製品・サービス等の実現に向けて、本技術シーズがどのように寄与するかも具体的に説明してください。
- (2) これまでに得られている研究開発成果
- ※ (1)で記載した技術シーズに関して、これまでに得られている研究開発成果では、どのような条件でどのような結果を得ているのか等、図・表等の実験データとともに定量的・具体的に記載してください。
- (3) 競合技術・製品との比較
- ※ 技術シーズが関係する分野の研究開発動向について記載するとともに、従来技術、競合技術、または競合製品との比較を行ってください。

## ステージ I

## ステージ II

- ・ ステージ I は様式3を3ページ以内
- ・ ステージ II は、様式3の3-1. を3ページ以内で記載してください。

## ステージ II

- ※ステージIIのみ：  
参画する1企業につき1ページ以内で記載してください。

### 3-2. 技術シーズに対する参画企業の見解 ※1企業につき1ページ以内

- ※ 参画企業の技術シーズに対する見解を1ページ以内で記載してください。
- ※ 複数の企業の見解を記載する場合は1企業につき1ページで追加してください。
- 主たる研究分担者・氏名：  
所属機関名：  
部署名：  
役職名：

(1) 本技術シーズに興味をもった背景、理由

(2) 想定している用途、利用分野

(3) 企業から見た現時点での課題

(4) 本研究開発で期待する研究成果

- ※ 企業として、技術移転を受けるにあたって、中間評価時および終了時に必要と考える研究成果を具体的に(性能、機能、精度等、定量的な数値も含め)に記載してください。

「3. 研究開発実施予定」を除いて5ページ以内で記載してください。

**様式 4-1 目標・実施計画**

※様式4-1は、「3. 研究開発実施予定」を除いてA4用紙5ページ以内（厳守）としてください。  
 ※評価者が理解しやすいよう、必要に応じて図表(カラー可)を用いて記載してください。  
 ※以下の観点から評価を行います。

実施期間内に達成する目標、実施計画及び予算計画が具体的かつ適切であり、産学連携構築が期待できること。  
 ※実施期間終了時点における達成目標を具体的に記載してください。  
 ※目標の達成に向け、具体的な実施内容や計画を記載してください。全体としてどのようなアプローチ(予想される問題点とその解決策を含む具体的手法、進め方)をとり、どのようなスケジュール、チェックポイント(研究途上での節目となる到達点・達成事項、研究の達成度の判断基準とその時期)を設定し、研究を実施するのかわかるように記載してください。

**1. 研究開発の目標**

(1) 研究期間終了時の達成目標  
 ※育成フェーズ終了時における研究開発成果の内容を具体的な(性能、機能、精度など定量的な数値も含め)に記載してください。

(2) 目標と解決策  
 ※「(1) 研究期間終了時の達成目標」の達成に必要な技術的目標を具体的に記載してください。  
 ※目標が合理的であることを示す根拠(なぜその目標を選択したか、目標値の妥当性、ニーズとの関係等)を記載してください。  
 ※問題点には、目標を達成する上で障害となる問題点を抽出して記載してください。  
 ※解決策には、問題点の解決策を記載してください。この解決策によって目標が達成されることがわかるよう、現状と目標を対比しながら明確に記載してください。また、可能な限り、解決策となりうる根拠(予備実験結果・データ等)を示してください。  
 ※目標数に応じて番号を増やしてください。

①目標名：●●●●●  
 内容：○○○○○…  
 目標の根拠：○○○○○…  
 問題点：○○○○○…  
 解決策：○○○○○…

②目標名：▲▲▲▲▲  
 内容：○○○○○…  
 目標の根拠：○○○○○…  
 問題点：○○○○○…  
 解決策：○○○○○…

**2. 研究開発の計画** ※様式4-1のページ数制限(A4用紙5ページ以内)の範囲内です。

※評価者が理解しやすいよう、必要に応じて図表(カラー可)を用いて記載してください。

(1) 研究開発項目およびその内容  
 ※研究開発項目名を簡潔に記載してください。また、「1. 研究開発の目標」の「(2) 目標と解決策」に記載した項目とも対応させて記載してください。  
 ※本各研究開発項目の担当機関、到達点、実施内容は具体的に記載してください。到達点は可能な限り定量的な内容(数値目標を含む)としてください。  
 ※各研究開発項目が対応する目標にどのように資するのかも含めて、実施内容を具体的に記載してください。  
 ※項目数に応じて番号を増やしてください。

①研究開発項目名：…の開発 (○○大学)  
 関連する目標：1(2)①(対応する目標の項番(1)②…)を記載してください  
 本研究開発項目の到達点：○○○○○…  
 実施内容：○○○○○…

②研究開発項目名：…の向上 (○○大学、△△研究所)  
 関連する目標：1(2)②(対応する目標の項番(1)②…)を記載してください  
 本研究開発項目の到達点：○○○○○…  
 実施内容：○○○○○…

(2) 課題終了後に想定する実施項目  
 ※ステージIが終了した後、必要と思われる実施項目について、実施時期(見込み)を簡潔に記載してください。  
 ※実施項目数に応じて番号を増やしてください。  
 ①実施項目：○○○○○…  
 実施時期(見込み)：20xx年頃

②実施項目：○○○○○…  
 実施時期(見込み)：20xx年頃

(3) 産学共同研究の体制構築に向けた活動方針  
 ※想定する産業界・企業との共同研究体制を構築するに資する活動(共同研究の推進、共同研究の体制構築に向けたサポート体制もあれば記載してください)を簡潔に記載してください。

**3. 研究開発実施予定** ※様式4-1のページ数制限(A4用紙5ページ以内)の対象外です。

(1) 研究開発実施予定表

項目 No.	実施内容 ※2(1)に記載の実施内容を簡潔に記載してください。	担当機関	年度		
			2026	2027	2028
①	○○○○○…	○○大学	CP1	CP3	
②	○○○○○…	○○大学、△△研究所	CP2	CP4	CP5
③					
④					
⑤					

※チェックポイント(CP)とは「これが達成できないと次へ進めない」。

(2) チェックポイントの内容

CP	項目	達成時期	確認内容
CP1	(例) ○○システムの正当性確認	20xx年x月	(例) ○○の条件で動作させたときの正当率が**%以上であることを●●計測により確認する。
CP2			

※チェックポイントの確認内容は可能な限り定量的な内容(数値目標を含む)としてください。  
 ※(1) 研究開発実施予定表のCP1、CP2、…と対応させて記載してください。

研究開発項目との間に連動が見込まれる場合は、例示のように示してください。

記載の目標、研究開発項目、予定表項目は関連が付くように記載してください。

複数機関で取り組む研究開発項目は1つにまとめ、項目名の括弧内に実施機関を記載してください。

「3. 研究開発実施予定」を除いて5ページ以内で記載してください。

参画企業を含めて研究開発項目、予定表を記載してください。

**様式4-1 目標・実施計画**

※様式4-1は、「3. 研究開発実施予定」を除いてA4用紙5ページ以内（厳守）としてください。  
 ※評価者が理解しやすいよう、必要に応じて図表（カラー可）を用いて記載してください。  
 ※以下の観点から評価を行います。  
 実施期間内に達成する目標、実施計画及び予算計画が具体的かつ適切であり、企業等への技術移転が期待できること。  
 ※実施期間終了時点における達成目標を具体的に記載してください。  
 ※目標の達成に向け、具体的な実施内容や計画を記載してください。全体としてどのようなアプローチ（予想される問題点とその解決策を含む具体的手法、進め方）をとり、どのようなスケジュール、チェックポイント（研究途上の節目となる到達点・達成事項、研究の達成度の判断基準とその時期）を設定し、研究を実施するのかわかるように記載してください。

**1. 研究開発の目標**

(1) 研究期間終了時の達成目標  
 ※本格フェーズの終了時における研究開発成果の内容を具体的に（性能、機能、精度など定量的な数値も含め）に記載してください。

(2) 目標と解決策  
 ※「(1) 研究期間終了時の達成目標」の達成に必要な技術的目標を具体的に記載してください。  
 ※目標が合理的であることを示す根拠（なぜその目標を選択したか、目標値の妥当性、ニーズとの関係等）を記載してください。  
 ※問題点には、目標を達成する上で障害となる問題点を抽出して記載してください。  
 ※解決策には、問題点の解決策を記載してください。この解決策によって目標が達成されることがわかるよう、現状と目標を対比しながら明確に記載してください。また、可能な限り、解決策となりうる根拠（予備実験結果・データ等）を示してください。  
 ※目標数に応じて番号を増やしてください。

①目標名：●●●●●  
 内容：○○○○○…  
 目標の根拠：○○○○○…  
 問題点：○○○○○…  
 解決策：○○○○○…

②目標名：▲▲▲▲▲  
 内容：○○○○○…  
 目標の根拠：○○○○○…  
 問題点：○○○○○…  
 解決策：○○○○○…

**2. 研究開発の計画** ※様式4-1のページ数制限（A4用紙5ページ以内）の範囲内です。  
 ※評価者が理解しやすいよう、必要に応じて図表（カラー可）を用いて記載してください。

(1) 研究開発項目およびその内容  
 ※研究開発項目名を簡潔に記載してください。また、「1 研究開発の目標」の「(2) 目標と解決策」にある目標のうち、関連するものの項番を記載してください。  
 ※各研究開発項目の担当機関、到達点、実施内容は具体的に記載してください。到達点は可能な限り定量的な内容（数値目標を含む）としてください。  
 ※各研究開発項目が対応する目標にどのように資するのかも含めて、実施内容を具体的に記載してください。  
 ※項目数に応じて番号を増やしてください。

①研究開発項目名：…の開発（○○大学、△△研究所）  
 関連する目標：1(2)①（対応する目標の項番(①②…)を記載してください）  
 本研究開発項目の到達点：○○○○○…  
 実施内容：○○○○○…

②研究開発項目名：…の向上（○○大学、(株)○○）  
 関連する目標：1(2)②（対応する目標の項番(①②…)を記載してください）  
 本研究開発項目の到達点：○○○○○…  
 実施内容：○○○○○…

③研究開発項目名：…の評価（(株)○○）  
 関連する目標：1(2)③（対応する目標の項番(①②…)を記載してください）  
 本研究開発項目の到達点：○○○○○…  
 実施内容：○○○○○…

(2) 実用化に向けた取組  
 ※実用化に向けた企業等への技術移転に向けて、大学等および企業等において取り組む内容について記載してください。  
 ※研究開発を通じて、特許やノウハウ等の知的財産の形成をどのように推進するの記載してください。

**3. 研究開発実施予定** ※様式4-1のページ数制限（A4用紙5ページ以内）の対象外です。

(1) 研究開発実施予定表

項目No.	実施内容 ※2(1)に記載の実施内容を簡潔に記載してください。	担当機関	年度						
			2026	2027	2028	2029	2030		
①	○○○○○…	○○大学、 △△研究所		CP1	CP2		CP4		CP7
②	○○○○○…	○○大学、 (株)○○					CP5		
③	○○○○○…	(株)○○							CP8
④	○○○○○…							CP6	

(2) チェックポイントの内容

CP	チェックポイント項目	達成時期	確認内容
CP1	(例) ○○システムの正当性確認	20xx年△月	(例) ○○の条件を満たしていること ●●●●
CP2			

※チェックポイントの確認内容は可能な限り定量的な数値を含めて記載してください。  
 ※ (1) 研究開発実施予定表のCP1、CP2、…

複数機関で取り組む研究開発項目は1つにまとめ、項目名の括弧内に実施機関を記載してください。

記載の目標、研究開発項目、予定表項目は関連が付くように記載してください。

研究開発項目との間に連動が見込まれる場合は、例示のように示してください。

様式 4-2 予算計画

※ 様式 4-2 にページ数制限はありません。

※ 以下の観点から評価を行います。

実施期間内に達成する目標、実施計画及び予算計画が具体的かつ適切であり、産学連携構築が期待できること。

1. 研究機関別の予算計画(JST支出分)

※ 様式 5-1 で提案する研究機関別の研究費の見込み(直接経費と間接経費の合計の委託費)を年度ごとに記入してください。

※ 必要に応じて行を増減してください。

委託費合計	初年度 2026.10~ 2027.3	2年度 2027.4~ 2028.3	最終年度 2028.4~ 2029.3	合計 (千円)
代表機関 (△△大学)				
参画機関1 (△△大学)				
参画機関2 (△△大学)				
合計(千円)				

2. 費目別の予算計画

※ 提案時点で想定する費目別の研究費の見込みを年度ごとに記入してください。

※ 主たる研究分担者が複数いる場合、各項目をコピーし、主たる研究分担者が所属する研究機関(参画機関)ごとに記載してください。

※ 間接経費は、原則直接経費の30%を上限として措置されます。

(1) 代表機関(研究責任者所属機関)

○○大学

費目	初年度 2026.10~ 2027.3	2年度 2027.4~ 2028.3	最終年度 2028.4~ 2029.3	合計 (千円)
物品費				
旅費				
人件費・謝金				
その他				
直接経費合計(千円)				
間接経費(千円)				
委託費合計(千円)				

<主な用途>(記載例)

物品費: ○○計測装置(○○  
△△機器(○○○  
□□装置試作(○○○  
人件費: 研究開発員○名(○○○○千円)  
その他: ◇◇測定 外注(○○○○千円 2027年度)

(2) 参画機関(主たる研究)

(a) ○○大学

費目	初年度 2026.10~ 2027.3	2年度 2027.4~ 2028.3	最終年度 2028.4~ 2029.3	合計 (千円)
物品費				
旅費				
人件費・謝金				
その他				
直接経費合計(千円)				
間接経費(千円)				
委託費合計(千円)				

<主な用途>(記載例)

物品費: ○○計測装置(○○  
△△機器(○○○  
□□装置試作(○○○  
人件費: 研究開発員○名(○○○○千円)  
その他: ◇◇測定 外注(○○○○千円 2027年度)

3. 特記事項

※ 予算計画について、補足すべき事項があれば記載してください。

※ 多額の人件費や旅費が必要な場合等、特に説明が必要な事項があれば記載してください。

直接経費は、千円単位の整数で記載してください。

- 直接経費と間接経費の合計額です。
- 1.と2.の委託費にズレが生じないようにご注意ください。

ステージ I の初年度の委託費上限は **7,500千円**です。

ステージ I の初年度を除く年度毎の委託費上限は **15,000千円/年度**です。

- 間接経費は、直接経費合計に、間接経費比率を乗じた金額を記入してください。
- 間接経費に小数が出る場合は、切り上げてください※1。

(例)

直接経費合計: 5,001千円※2

間接経費(30%の場合):  
5,001 × 30% = 1,501千円  
(1,500.3千円)

※1: 切り上げの際、委託費合計の上限を超えないよう注意してください。

※2: 10千円(1万円)未満の直接経費の計上は任意です。

- **直接経費と間接経費の合計額**です。
  - 1.と2.の委託費にズレが生じないようにご注意ください。
- ※1.～3.に企業は含みません。

複数企業の参画がある場合は、企業毎に(2)、(3)…と各項目をコピーし、参画企業ごとに記載してください。

※ 以下観点から評価を行います。  
実施期間内に達成する目標、実施計画の進捗状況、企業等への技術移転が期待できること。

1. 研究機関別の予算計画 (JST 様式 5-1 で提案する大学等の研究機関の自己資金拠出予定額) に記載してください。

費目	初年度 2026.10~ 2027.3	2年度 2027.4~ 2028.3	3年度 2028.4~ 2029.3	4年度 2029.4~ 2030.3	最終年度 2030.4~ 2031.3	合計 (千円)
委託費合計						
代表機関 (△△大学)						
参画機関1 (△△大学)						
参画機関2 (△△大学)						
合計(千円)						

費目	初年度 2026.10~ 2027.3	2年度 2027.4~ 2028.3	3年度 2028.4~ 2029.3	4年度 2029.4~ 2030.3	最終年度 2030.4~ 2031.3	合計 (千円)
物品費						
旅費						
人件費・謝金						
その他						
直接経費合計(千円)						
間接経費(千円)						
委託費合計(千円)						

直接経費は、千円単位の整数で記載してください。

- **間接経費は、直接経費合計に間接経費比率を乗じた金額**を記入してください。
  - 間接経費に小数が出る場合は、切り上げてください※1。
- (例) 直接経費合計：5,001千円※2  
間接経費(30%の場合)：

$$5,001 \times 30\% = 1,500.3 \text{千円}$$

- ※1:切り上げの際、委託費合計の上限を超えないよう注意してください。
- ※2:10千円(1万円)未満の直接経費の計上は任意です。

4. 企業等の参画  
(1): ●●株式会社  
※自己資金として参画する必要があります。参画企業等における企業等の参画に係る留意事項について(本格フェーズのみ)をご確認ください。  
※企業等の参画機関が複数ある場合、各項目をコピーし、参画機関ごとに記載してください。

費目	初年度 2026.10~ 2027.3	2年度 2027.4~ 2028.3	3年度 2028.4~ 2029.3	4年度 2029.4~ 2030.3	最終年度 2030.4~ 2031.3	合計 (千円)
物品費						
旅費						
人件費・謝金						
その他						
自己資金拠出予定額(千円)						

<主な用途>(記載例)  
物品費: ○○計測装置(○○○○千円、2027年度)  
△△機器(○○○○千円、2027年度)  
□□装置試作(○○○○千円、2027年度)  
人件費: 研究開発員○名(○○○○千円)  
その他: ◇◇測定 外注(○○○○千円 2027年度)

5. マッチングファンド計画  
※ JST 委託研究開発費の総額、自己資金拠出予定額の総合計、及びマッチング指数を記載してください。

大学等へ支出するJST委託研究費の総額 (A)	企業等の自己資金拠出予定額の総合計 (B)	マッチング指数 (B/A)
0	0	0.0

**総合計**ですのでご注意ください。  
複数企業が参画する場合は、参画企業全ての自己資金拠出予定額の総合計です。大学等(A)も同様です。

ステージIIの初年度の委託費上限は**12,500千円**です。

ステージIIの初年度を除く年度毎の委託費上限は**25,000千円/年度**です。

様式5-1 実施体制(全体)

※ 様式5-1にページ数制限はありません。

※ 以下の観点から評価を行います。

提案内容の遂行に最適な実施体制を構築していること。

※ 必要に応じて行を

※本図はステージⅡの例。

1. 実施体制

※ 研究責任者の研究構想を実現するために必要十分で最適な編成を提案してください。

※ 共同研究を実施する参画機関を編成する場合、共同研究を実施する参画機関は研究構想実現のために必要不可欠であって、研究目的の達成に向けて大きく貢献できることが必要です。

※ JSTは研究責任者および主たる研究分担者(大学等)の所属機関と委託研究契約を締結します。

※ 企業等の主たる研究分担者も記載してください。

研究責任者 氏名	所属機関、部署、役職名	現在の専門／研究題目
▲▲ ▲▲ (19zz) ※研究責任者は生年(西暦)を記入 エフォート〇〇(%)	研究責任者の所属機関・部署・役職名	専門分野を記入してください 様式1「研究課題名」と同じ名称を記入してください。
主たる研究分担者 氏名	所属機関、部署、役職名	現在の専門／研究概要
■ ■ ■ ■ エフォート〇〇(%)	主たる研究分担者(1)の所属機関・部署・役職名	専門分野を記入してください 20字程度で参画機関の研究概要を記入してください。
◎ ◎ ◎ エフォート〇〇(%)	主たる研究分担者(2)の所属機関・部署・役職名	20字程度で参画機関の研究概要を記入してください。

2. その他の協力者・機関

※ 本提案へ直接的に参画しないが何らかのかたちで連携・協力する者や機関(すでに了解を得ている、あるいは交渉中である者や機関)があれば、記入してください。

※ 該当がない場合は、表を削除したうえで「該当なし」と記載してください。

協力者・協力機関名	協力内容	これまでの協力関係の有無
〇〇大学 〇〇学部 〇〇〇〇教授	〇〇実施の協力	有
〇〇〇〇株式会社 〇〇部	〇〇のデータ提供、現場との連携調整	有
〇〇市役所 〇〇部 〇〇課	〇〇に関する助言	無

- JSTから配賦される研究予算を執行し研究を実施する全ての大学等の研究機関を記載してください。(JSTと各研究機関との間で委託研究契約を締結します。)
- 研究の再委託はできません。

※ステージⅡのみ：

企業等の主たる研究分担者も記載してください。

(JSTと企業等との間では、委託研究契約の締結や研究予算の配賦はしません。)

20字程度で各機関の研究概要を記載してください。

実施体制は、e-Rad応募の「2. 研究組織情報の登録」と一致するように記載してください。  
※エフォートはe-Radの数値と一致させてください。(参考)

e-Rad応募の「2. 研究組織情報の登録」に、研究責任者と主たる研究分担者以外の参加メンバーは追加不要です。

- 直接的に参画しないが何らかのかたちで連携・協力する者や機関(交渉中を含む)があれば記入してください。
- 該当がない場合は、表を削除し、「該当なし」と記載してください。

様式 5-2 実施体制（研究責任者 代表機関）

※ 様式 5-2 は、A4 用紙 2 ページ以内(厳守)としてください。

※ 以下の観点から評価を行います。

提案内容の遂行に最適な実施体制を構築していること。

※ 必要に応じて行

※本図はステージ II の例。

2ページ以内で記載してください。

1. 研究責任者（代表機関）

(1) 実施体制

※ 研究チームの構成メンバーについては、その果たす役割等について十分ご検討ください。

※ 提案時に氏名が確定していない研究員等の場合は、「研究員 ○名」と記載してください。

※ 異なる機関に所属する研究者は参画機関としてください。また、同一機関に所属する場合であっても、個別に経費を執行する必要がある場合等は、別の参画機関としてください。

研究責任者 氏名	所属機関、部署、役職名
〇〇 〇〇	〇〇大学 大学院〇〇研究科 〇〇専攻 教授
主な参加者 氏名	所属機関、部署、役職名 (上記と同じ場合には「同上」とし役職名を記載)
〇〇 〇〇	同上 主席研究員
〇〇 〇〇	同上 研究員
2名雇用予定	同上 特別研究員
×× ××	同上 URA

(参考)

e-Rad応募の「2. 研究組織情報の登録」には、  
主な参加者の入力は不要です。

(2) 構想における位置づけ

※ 研究責任者の代表機関が担当する研究の概要及び研究構想を実現するために果たす役割を記載してください。

様式 5-3 実施体制 (参画機関)

- ※ 様式 5-3 は、参画機関あたり A4 用紙 2 ページ以内(厳守)としてください。
- ※ 以下の観点から評価を行います。  
提案内容の遂行に最適な実施体制を構築していること。
- ※ 参画機関が複数必要な場合、本様式 5-3 に各項目をコピーし、参画機関ごとに記載してください。
- ※ 必要に応じて行を増減してください。

1. 参画機関 (1)

※本図はステージ II の例。

(1) 実施体制

- ※ 研究チームの構成メンバーについては、その果たす役割等について十分ご検討ください。
- ※ 提案時に氏名が確定していない研究員等の場合は、「研究員 ○名」と記載してください。
- ※ 異なる機関に所属する研究者は参画機関としてください。また、同一機関に所属する場合であっても、個別に経費を執行する必要がある場合等は、別の参画機関としてください。

主たる研究分担者 氏名	所属機関、部署、役職名
〇〇 〇〇	〇〇大学 大学院〇〇研究科 〇〇専攻 教授
主な参加者 氏名	所属機関、部署、役職名 (上記と同じ場合には「同上」とし役職名を記載)
〇〇 〇〇	同上 主席研究員
〇〇 〇〇	同上 研究員
2名雇用予定	同上 特別研究員

(2) 構想における位置付け

- ※ 参画機関が担当する研究の概要及び研究構想を実現するために果たす役割、必要不可欠であることの原因を記載してください。

- 主たる研究分担者の参画機関毎に2ページ以内で記載してください。
- 参画機関が複数ある場合は、  
2. 参画機関(2)  
(1)実施体制  
...  
のように機関毎に各項目を記載してください。  
※同一機関で参画機関を別ける場合も、  
同様に別機関として機関毎に各項目を記載してください。
- ステージ I : 参画機関がない場合は、青字の記載ガイドは削除し、様式は消さずに残してください。
- ステージ II : 企業の「実施体制」及び「構想における位置付け」も参画機関毎に作成してください。

(参考)

e-Rad応募の「2. 研究組織情報の登録」には、  
主な参加者の入力は不要です。

3ページ以内で記載してください。

様式6-1 研究・活動実績(研究責任者)

※ 様式6-1は、A4用紙3ページ以内(厳守)としてください。  
 ※ 以下の観点から評価を行います。  
 提案内容の遂行に必要な活動実績及び責任能力を有していること。

1. 研究責任者: ○○ ○○

(1) 研究者情報等

研究歴 (主な職歴と研究内容)	20XX年 ○○大学大学院○○研究科博士課程○○専攻修了 20XX年～20XX年 ○○大学○○学部 助手 ○○教授研究室で○○○○○について研究 20XX年X月～20XX年X月 出産・育児休業 20XX年～20XX年 ○○研究所 研究員 ○○博士研究室で○○○に関する研究に従事 20XX年～20XX年 ○○大学○○学部 教授 ○○○について研究 ※考慮すべきライフイベント(出産・育児・介護等)の期間があれば、記載してください。(記載は必須ではありません。過去の研究実績に影響があったなどの理由で評価者に伝えたい場合のみ記載してください。)
研究者情報	ORCID URL: researchmap URL: ※ORCID またはresearchmapのURLを記入してください。なければ、研究・活動実績等の情報を収載しているサイトのURLを記入してください。 ※評価において、評価者が必要に応じて参照します。
英語論文での著者表記	※フルネームで正確に記入してください。

※本図はステージIIの例。

(2) 研究・活動・マネジメント実績  
 (i) 技術シーズの詳細が分かる資料リスト(活動実績を含む)  
 (ア) 技術シーズに関連する主要な論文・著書、発明  
 文・著書等の業績、特許をそれぞれ5件以内、技術シーズに関わる  
 付けてください。その番号は、研究構想(様式2)において引用で  
 きます。  
 ※ 技術シーズに関連する資料(研究責任者、他の主たる研究分担者を含めた)のうち主な3点以内(特  
 許を除く)を応募時に添付資料としてアップロードしてください。

(A) 論文: ※5件以内  
 (技術シーズ関連)  
 ①著者氏名、"発表論文名"、掲載誌、Vol.123・p.123-129 (2020)  
 (技術シーズ以外)  
 ⑤著者氏名、"発表論文名"、掲載誌、Vol.234・p.12-15 (2025)

(B) 特許: ※5件以内(その他関連特許○件)  
 記載例:  
 (技術シーズ関連)  
 ①特許第1234567号、発明者氏名、「○○○の製造方法」、特許権者: ○○大学  
 (技術シーズ以外)  
 ⑤特許第2345678号、発明者氏名、「○○○装置」、特許権者: ○○大学

(イ) 主要な招待講演 ※5件以内  
 ※ 研究責任者のこれまでの主要な招待講演5件以内を、現在から順に発表年次を過去に選んで記  
 載してください。技術シーズに関連するものがわかるように明示してください。  
 ※ 記載にあたっては、行頭に連番を付けてください。  
 ※ researchmapの「講演・口頭発表等」一覧ページのうち、記載する業績のデータをそのまま提案書に  
 転記(コピー&ペースト)することも可能です。

(ウ) 主要な受賞歴 ※5件以内  
 研究責任者のこれまでの主要な受賞歴5件以内を、現在から順に発表年次を過去に選んで記載してく  
 ださい。技術シーズに関連するものがわかるように明示してください。  
 ※ 記載にあたっては、行頭に連番を付けてください。  
 ※ researchmapの「受賞」一覧ページのうち、記載する業績のデータをそのまま提案書に転記(コピー  
 &ペースト)することも可能です。

(ii) 技術シーズに関連する競争的研究費等の実績  
 ※ 技術シーズに関連する競争的研究費等の実績がある場合は、技術シーズの起点となった支援及びその  
 他本提案に関連の高い代表的支援を最大3点まで記載してください。また、その事後評価結果がウェブ  
 サイト等に掲載されている場合はそのURLを記載してください。

※	制度名	事業名	実施期 間(年 度・西 暦)	課題名 (実施者名 (代表、分担 の別))	本提案シーズとの関連 性	事後評価結果
JST	記載例:	記載	19ww~	○○○		https://www....

事業	戦略的創 造研究推 進事業	例: さ きかけ	20zz	(△△ △△ (代表/分担))		
		○○○	19ww~ 20zz	○○○ (△△ △△ (代表/分担))		https://www....
その他	記載例: 科研費	記載 例: 基 盤B		○○○ (△△ △△ (代表/分担))		

特許に関する資料は、  
e-Radにアップロードしな  
いでください。

(参考)  
 e-Rad応募時、「技術シーズの詳細が分かる資料」  
 として、研究責任者、主たる研究分担者を含めた論  
 文等の資料※から3点以内をアップロードしてくださ  
 い(特許資料を除く)。

※技術シーズを創出した際に受けていた  
 資金制度に提出した研究終了報告書も含みます。

**主たる研究分担者ごとに3ページ以内**で記載してください。  
 ※ステージIIの場合、**企業の主たる研究分担者は不要**です（大学等に限ります）。

様式6-2 研究・活動実績(主たる研究分担者)

※ 様式6-2は、主たる研究分担者(大学等に限り)1名あたりA4用紙3ページ以内(厳守)としてください。

※ 主たる研究分担者が複数いる場合、各項目をコピーし、主たる研究分担者ごとに記載してください。

※ 以下の観点から評価を行います。

提案内容の遂行に必要な活動実績及び責任能力を有している。

1. 主たる研究分担者: ○○ ○○

(1) 研究者情報等

研究者情報	ORCID URL: researchmap URL: ※ORCID または researchmap のURL を記入してください。なければ、研究・活動実績等の情報を掲載しているサイトのURL を記入してください。 ※評価において、評価者が必要に応じて参照します。
英語論文での著者表記	※フルネームで正確に記入してください。

(2) 研究・活動・マネジメント実績

(i) 技術シーズの詳細が分かる資料リスト(活動実績を含む)

(ア) 技術シーズに関連する主要な論文・著書、発明

※ 主たる研究分担者のこれまでの主要な論文・著書等の業績、特許をそれぞれ5件以内、技術シーズに関わる重要なものから順に列挙ください。

※ 記載にあたっては、行頭に連番を付けてください。その番号は、研究構想(様式2)において引用できます。

※ 技術シーズに関連する資料(研究責任者、他の主たる研究分担者を含めた)のうち主な3点以内(特許を除く)を応募時に添付資料としてアップロードしてください。

(A) 論文: ※5件以内

記載例:  
(技術シーズ関連)  
①著者氏名、"発表論文名"、掲載誌、Vol.123・p.123-129 (2020)

(技術シーズ以外)  
⑤著者氏名、"発表論文名"、掲載誌、Vol.234・p.12-15 (2025)

※本図はステージIIの例。

(B) 特許: ※5件以内(その他関連特許○件)

記載例:  
(技術シーズ関連)

(技術シーズ以外)  
⑤特許第2345678号、発明者氏名、「○○○装置」、特許権者:○○大学

(イ) 主要な招待講演 ※5件以内

※ 主たる研究分担者のこれまでの主要な招待講演5件以内を、現在から順に発表年次を過去に遡って記載してください。技術シーズに関連するものがわかるように明示してください。

※ 記載にあたっては、行頭に連番を付けてください。

※ researchmap の「講演・口頭発表等」一覧ページのうち、記載する業績のデータをそのまま提案書に転記(コピー&ペースト)することも可能です。

(ウ) 関連する主要な受賞歴 ※5件以内

※ 主たる研究分担者のこれまでの主要な受賞歴5件以内を、現在から順に発表年次を過去に遡って記載してください。技術シーズに関連するものがわかるように明示してください。

※ 記載にあたっては、行頭に連番を付けてください。

※ researchmap の「受賞」一覧ページのうち、記載する業績のデータをそのまま提案書に転記(コピー&ペースト)することも可能です。

(ii) 技術シーズに関連する競争的研究費等の実績

※ 技術シーズに関連する競争的研究費等の実績がある場合は、技術シーズの起点となった支援及びその他本提案に関連の高い代表的支援を最大3点まで記載してください。また、その事後評価結果がウェブサイトに掲載されている場合はそのURLを記載してください。

※	制度名	事業名	実施期間(年度・西暦)	課題名(実施者名)(代表/分担別)	本提案シーズとの関連性	事後評価結果
JST事業	記載例: 戦略的創造研究推進事業	記載例: さきがけ	19ww~20zz	○○○(△△ △△)(代表/分担)		https://www....
	○○○○	○○○	19ww~20zz	○○○(△△ △△)(代表/分担)		https://www....
その他	記載例: 科研費	記載例: 基盤B		○○○(△△ △△)(代表/分担)		

特許に関する資料は、e-Radにアップロードしないでください。

※ 大学等の主たる研究分担者がいない(大学等の参画機関がない)場合は、青字の記載ガイドは削除し、様式は消さずに残してください。

様式 7 他制度での助成等の有無

研究責任者：○○ ○○

番号	制度・プログラム名 (配分機関名)	受給状況	研究課題名 (代表者氏名)	研究期間	役割 (代表/分担)	本人受給研究費 (直接研究費) (1) 期間全体 (2) 2026年度 予定	2026年度 イフォート (%)
-	A-STEP ステージ II (本提案)	申請	-	2026.10 -	代表	(1) 千円 (2) 千円	30
1	科学研究費 補助金 基盤研究(S) (日本学術振興会)	受給	××による○○の創成 (○○○○)	2023.4 - 2026.3	代表	(1) 140,000 千円 (2) 25,000 千円	10
2	戦略的創造研究推進事業 ERATO (JST)	申請	××による○○の高機能化 (○○○○)	2025.10 - 2030.3	分担	(1) 100,000 千円 (2) 35,000 千円	-
3						(1) 千円 (2) 千円	

エフォートはe-Radの数値と一致させてください。

主たる研究分担者(1)：○○ ○○

番号	制度・プログラム名 (配分機関名)	受給状況	研究課題名 (代表者氏名)	研究期間	役割 (代表/分担)	本人受給研究費 (直接研究費) (1) 期間全体 (2) 2026年度 予定	2026年度 イフォート (%)
-	A-STEP ステージ II (本提案)	申請	-	2026.10 -	分担	(1) 千円 (2) 千円	30
1	厚生労働科学 研究開発費	受給	××開発に 関する実践研究 (○○○○)	2023.4 - 2026.3	代表	(1) 50,000 千円 (2) 20,000 千円	10
2				-		(1) 千円 (2) 千円	
3				-		(1) 千円 (2) 千円	

ステージ II は、企業の主たる研究分担者についても記載してください。

様式 8 特記事項

※ 様式 8 は、A4 用紙 2 ページ以内(厳守)としてください。

1. 利益相反マネジメントにかかる申告

※ 公募要領「5.5 利益相反マネジメントの実施」に基づき、利害関係の有無について申告してください。記載にあたっては必ず該当箇所を参照してください。

※ 評価者は、以下のウェブサイトを確認してください。

[https://www.jst.go.jp/a-step/koubo/files/2026\\_sangaku/2026\\_sangaku\\_hyoka.pdf](https://www.jst.go.jp/a-step/koubo/files/2026_sangaku/2026_sangaku_hyoka.pdf)

公募要領「5.5 利益相反マネジメントの実施」に定める利害関係者の要件に関して、

該当なし  該当あり

※ 該当がない場合は、下記の表を削除してください。

※ 該当する場合には、どの要件に該当するかも含めて、その理由を簡潔に記入してください。記載内容に基づき利害関係があると JST が判断した評価者は、提案書査読の担当から除外され、書類選考会での発言は控えるとともに、面接選考会では対面しない措置を講じます。

No.	該当する要件	該当する研究責任者/主たる研究分担者氏名	該当する評価者/機関	理由
1	(1) d	研究責任者名	△△ △△	研究責任者名は、○○プロジェクト(20XX年~20XX年)にて研究総括と共同研究を実施しており、利害関係者の要件のうち、(1)dに該当する。
2	(3)	研究責任者名	株式会社○○	研究責任者名の所属機関である株式会社○○は、JSTの出資先企業である。
3	(1) b	主たる研究分担者名	○○ ○○	主たる研究分担者名は、20XX年~20XX年にかけて領域アドバイザー○○氏が運営する研究チームに所属しており、利害関係者の要件のうち、(1)bに該当する。
4	(2) a	主たる研究分担者名	株式会社○○	主たる研究分担者名は、研究責任者名の研究開発成果を基に設立した株式会社○○に所属している。利害関係者の要件のうち(2)aに該当する。

2. その他特記事項

※ 異動予定がある場合は、記載してください。現時点で未定の場合はその旨を記載してください。事務手続きのための情報として取り扱います。

- 提案書の記載ガイド、または公募要領の「5.5 利益相反マネジメントの実施」を参照してください。
- 評価者一覧はホームページでご確認ください。  
[https://www.jst.go.jp/a-step/koubo/files/2026\\_sangaku/2026\\_sangaku\\_hyoka.pdf](https://www.jst.go.jp/a-step/koubo/files/2026_sangaku/2026_sangaku_hyoka.pdf)

何れかに必ずチェックしてください。

P0やアドバイザー等との利害関係がある場合は、その内容が分かるように簡潔に記載してください。

JSTの出資公表については、下記ウェブサイトを確認してください。  
<https://www.jst.go.jp/entre/news.html>

異動予定等がある場合は、こちらに記載してください。